

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 ディスカバリースタジオ

公表日 2026/2/18

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		専らプログラムを複数設定し、各プログラムで活動時間をずらしているため、スペースに余裕を持たせて活動ができております	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		余裕を持たせた職員配置を行っております。個別での配慮が必要なお子様には、個別でスタッフがフォローできるような体制を整えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		スケジュールの見える化など、お子様にわかりやすい構造化を行っております。バリアフリーとなっており、どなたでも利用しやすい構造となっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝の清掃を徹底しております。空気清浄機や加湿器も導入しており、心地良く過ごしていただけるような空間づくりを行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子様のその日の様子に応じて、集団に入ることがしんどい場合などには、集団から離れた空間で過ごしていただけるようにスペースを設け配慮しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月に1回業務改善検討のために、定例会を設けています。そこで業務目標の振り返りや今後の改善点について話し合っております	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングにて保護者様からのご意見を共有し、振り返りと対応について意見を交わし、改善につなげる機会を設けております	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に1回業務改善検討のために、定例会を設けています。そこで業務目標の振り返りや今後の改善点について話し合っております	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		外部評価の内容を踏まえ、見直しや改善を行っております。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的に研修の機会を設けています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ上で公表しております。毎月の具体的なプログラム内容については、個別に保護者様にご連絡させていただいております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		お子様の状態をスタッフで共有し、話し合いを行った上で個別支援計画を作成しております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		定例会を行い、支援や子どもの様子について共有と支援方法について話し合う場を設けております。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員が共通の視点を持って支援に取り組みるように、定例会にて共有を行っております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		ご共有いただいたフォーマルな検査結果と、日々の療育の行動観察をあわせて、多角面な視点からお子様のアセスメントするように心掛けております。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設	○		個別具体的な支援内容となるように記載しております。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		プログラム担当者の案をもとにスタッフ間で意見の交換と立案に役立つ情報の共有を行いプログラム内容の充実につなげており	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		ミーティングを行い利用児童のニーズの共有、ニーズに沿った内容の改善を行い、また長期休暇には特別プログラムを実施するなど内容が固定化しないよう検討しています。	カンファレンスで対されるお子様もいらっしゃるため、一部固定化しているプログラムも存在します。お子様にとって無理のない範囲で少しずつ変化を加えられるような工夫をまいりま
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動が望ましいお子様に対しては、個別活動集団活動を組み合わせた計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日決められた時間に、スタッフの配置、プログラム内容、児童への配慮点、考え得る児童の危険行動予測の確認を行っており	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終了後に打ち合わせを行い、様子の共有や気づきを話し合いを行っています。実施後の振り返りをもとに、次回の療育の改善点も検討しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必ず記録を取るようになっています。	記録から見て取れるお子様の変化を考慮して、支援の内容を検討したり、支援に反映できるように努めて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング6ヶ月に1回以上実施しております。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。		○		お買い物学習で地域交流の機会を設けていますが、それ以外の地域交流の機会も検討してまいります。放課後等デイサービスを利用している事を周囲に知られたくないと考えるお子様もおり気持ちに配慮しながら検討しております。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様が自己決定できるように選択肢を提供する機会を多く設けております。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と担当者が参画するように調整しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携、相談を行えるようにしております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		必要に応じて連携、相談を行えるようにしております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		体制や安全面、お子様の心の成長の観点から、地域の中で他のお子様と活動する機会を設けることはできておりませんが、今後必要に応じて機会提供について検討してまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		カンファレンスを実施し、適切に引き継げるようにしております。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて連携、相談を行えるようにしております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		体制や安全面、お子様の心の成長の観点から、地域の中で他のお子様と活動する機会を設けることはできておりませんが、今後必要に応じて機会提供について検討してまいります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		参加したスタッフより他のスタッフに協議会の内容や得た情報を共有しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		気になることがあれば情報共有を行うようにしております。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		よりニーズに合った家族支援プログラムや研修の機会を提供できるように、職員の技術向上に努めてまいります。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学时や契約時に丁寧な説明を行うように心掛けております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様の意見を踏まえながら放課後等デイサービス計画を作成しております。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画の内容を説明しながら同意を得るようにしております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		保護者様からご相談があれば、適宜ご相談に対応させていただいております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		定期的に保護者会を実施しており、保護者様同士の交流機会を作らせていただいております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や苦情があれば、迅速に対応することを心掛けております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		Instagramの活用を行い活動様子の発信を行っております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報ファイルについては書庫にて適切に保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		お子様や保護者様に合わせた方法をアセスメントし、視覚的にも分かりやすいように絵や図を用いながら説明を行っております	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		自社栽培の農作物の収穫など、地域の方にもお手伝いいただいております。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		計画を基に定期的な研修を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		計画を基に定期的な研修を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に服薬状況やてんかん発作などについて保護者から丁寧に聞き取りを行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様とご相談の上、必要に応じて医師の指示に基づいた対応を行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		時期を決めて定期的な研修を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全確保について周知徹底が不完全でした。災害時の安全確保や避難場所などについて契約時に丁寧な説明を行ってまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあれば、全事業所で共有し、再発防止のための検討を行うようにしております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		時期を決めて定期的な研修を実施しています。職員がお子様への関わりを振り返ることができるようにセルフチェックも実施しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束適正化研修を実施し、適切な知識を身につけております。これまで身体拘束の事例はございませんが、万が一必要な場合は規定通りに対応させていただきます。	